

第四章 駐車場

4.1 自転車駐車場の現状

(1) 公営の自転車駐車場の状況

区内の公営の自転車駐車場には、区立施設のほか、公益財団法人練馬区環境まちづくり公社と公益財団法人自転車駐車場整備センターが開設している施設があります。

現在、公営自転車駐車場は84箇所あり、そのうち区立の施設は72箇所、収容台数は33,212台です。その他の公営施設は、12箇所、収容台数は9,522台です。

また区では、貸自転車事業として「ねりまタウンサイクル」も運用しています。ねりまタウンサイクルは7箇所あり、運用台数は2,700台です。

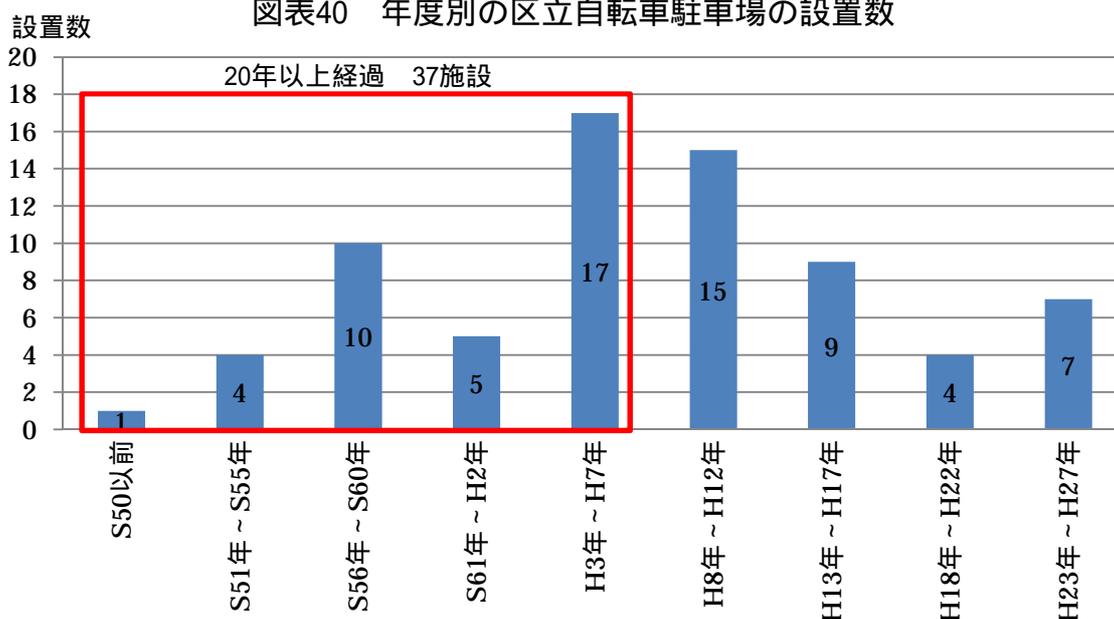
図表 39 練馬区の自転車駐車場等の現状 平成 27 年 4 月 1 日現在

		施設数	収容（運用）台数
自転車 駐車場	区立	72	33,212 うち原動機付自転車 674
	その他公営	12	9,522
計		84	42,734
タウンサイクル		7	2,700

区立自転車駐車場72箇所のうち、借地での運営が42箇所あり、突発的に返還せざるを得ない場合など施設の継続性が課題です。

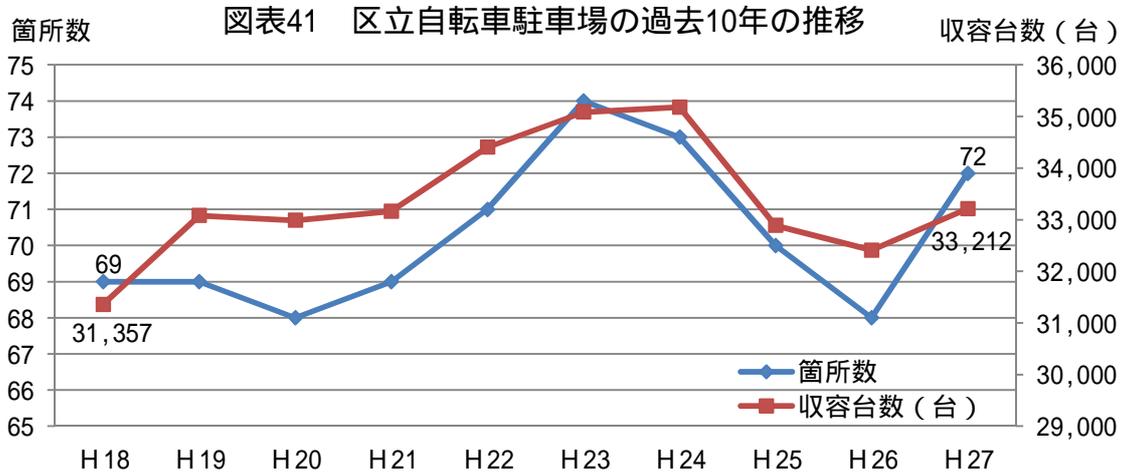
また、施設の約5割が開設から20年以上経過しており、建物や管理施設の老朽化が進んでいます。

図表40 年度別の区立自転車駐車場の設置数



(2) 区立自転車駐車場の過去10年の推移

区立自転車駐車場は、平成18年度の69箇所から平成27年度が72箇所となり、3箇所増加しました。また、収容台数は31,357台から33,212台となり、1,855台増加しました。



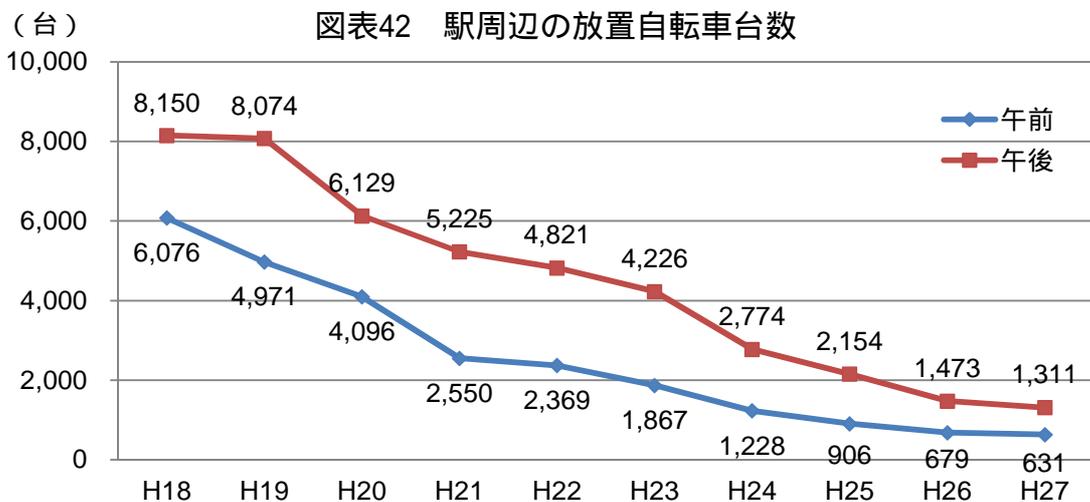
(3) 放置自転車対策の状況

これまで練馬区では、自転車駐車場やタウンサイクルの整備と放置自転車の撤去に取り組むことにより、午前の通勤・通学等による放置自転車の削減に努めてきました。その結果、放置自転車台数は、ピーク時(平成7年:13,142台)の約1/20以下に減少しています。

過去10年においては、午前の放置自転車が平成18年度の6,076台から平成27年度の631台となり、約1/10に減少しています。

一方、午後の放置自転車は平成18年度の8,150台から平成27年度の1,311台となり、約1/6の減少に留まっています。

今後は、午前の対策に加え、午後の買物客等による短時間の放置自転車対策が必要です。



(4) 自転車駐車場の維持管理の現状

区立自転車駐車場やタウンサイクルは、平成 18 年度から指定管理者制度を導入し、施設の維持管理や運営を行っています。

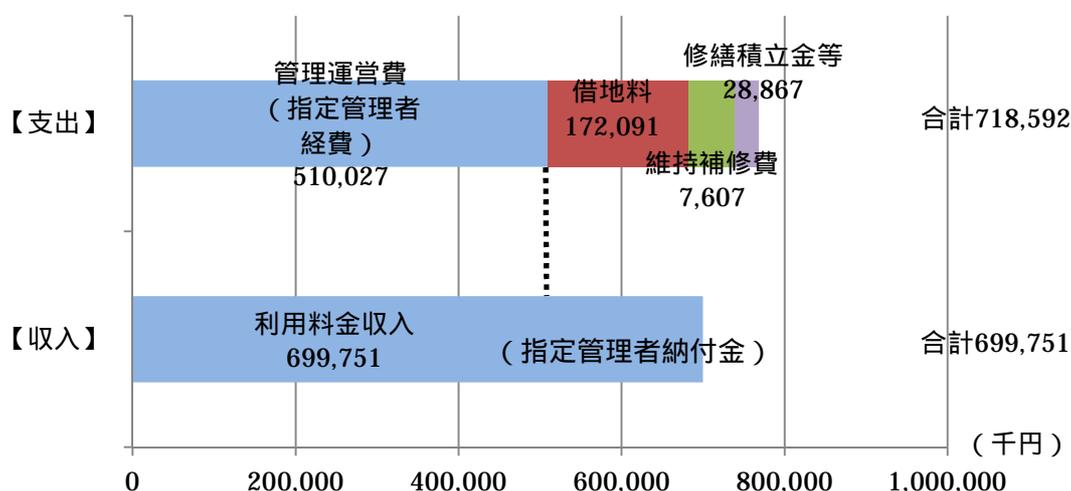
自転車駐車場の年間の維持管理費と収入（過去 5 年平均）

維持管理に要する費用は、管理運営費（指定管理者経費）と、区が支出する借地料、施設の修繕費、複合施設の共用修繕積立金等であり、年間約 7.2 億円です。一方、自転車駐車場の利用料金収入は約 7.0 億円です。

指定管理は、利用料金制を採用しており、利用料金収入は指定管理者が收受し、管理運営費を除いた約 1.9 億円が区に納付されています。

区が支出している費用は約 2.1 億円であり、納付額に対して約 0.2 億円多くなっています。

図表 43 年間の維持管理費と収入



今後 10 年間にかかる自転車駐車場の維持管理費の試算

今後 10 年間にかかる自転車駐車場とタウンサイクルの維持管理の費用は、現在の施設用地の借地を継続した場合、約 7.2 億円になります。引き続き利用料金による収入を活用して維持管理を行います。

4.2 自転車駐車場の整備と維持管理の方針

(1) 自転車駐車場の整備の方針

現在、自転車駐車場は必要な台数が確保されています。現状の台数が確保されていれば、既存駅では新規の整備の必要はありません。

借地として運営している施設、都市計画道路や河川事業の予定地内を借りて運営している施設については、返還により台数が減る場合があります。駅周辺等の利用率の高い重要な箇所など、自転車の乗り入れ台数に応じた用地取得を進めます。また、東京都と連携して、道路区域内の整備を行うなど、必要な台数を確保します。

(2) 自転車駐車場の維持管理の方針

放置自転車対策

駅周辺の商店街直近の施設では、買い物等の「短時間利用」の対策を進めます。管理機器の更新の際には、短時間の利用は無料で、一定時間が経過すると有料となるような設定が可能なゲートやラックを導入します。

また、駅からの距離や施設の階数の利便性に応じた利用料金を設定し、施設の稼働を平準化します。

指定管理者との役割分担

引き続き、指定管理者制度により、効率的な施設管理を進めます。あわせて利用率の一層の向上に努めます。

施設の維持管理については、区による施設改修と、指定管理者による日常的な維持補修があります。今後は、指定管理者による設備等更新の範囲を拡大し、迅速な対応によるサービスの向上を目指します。

区民との協働

各駅周辺において、商店会や町会・自治会などとの協議を進め、地域住民との協働による施設の管理や放置自転車対策に取り組みます。

図表 44 区立自転車駐車場一覧 (1/2)

	駅名	自転車駐車場名	開設	収容台数(台)			借地
				自転車	原付	計	
1	江古田駅	江古田駅	平成7年	840	40	880	
2		江古田駅第二	平成12年	178	0	178	
3		江古田駅第三	昭和55年	104	15	119	
4		江古田栄町	平成6年	60	0	60	
5	練馬駅	練馬駅北地下	平成26年	700	0	700	
6	豊島園駅	豊島園駅西	昭和51年	322	0	322	
7		豊島園駅東	平成5年	80	0	80	
8	練馬高野台駅	練馬高野台駅南	平成11年	532	0	532	
9	石神井公園駅	石神井公園駅北	昭和58年	796	104	900	
10		石神井公園駅北第二	平成5年	768	32	800	
11		石神井南	平成6年	1,046	10	1,056	
12	大泉学園駅	中島橋	昭和51年	97	28	125	
13		東大泉	平成27年	440	0	440	
14		東大泉第三	平成8年	67	0	67	
15		大泉学園駅北	平成10年	150	0	150	
16		大泉学園駅北第二	平成11年	307	28	335	
17		大泉学園駅北第三	平成19年	1,524	0	1,524	
18		大泉学園駅北第四	平成26年	500	0	500	
19		大泉学園駅北口地下	平成13年	1,092	0	1,092	
20		大泉学園駅南第一	昭和50年	148	0	148	
21		大泉学園駅南第二	平成15年	450	0	450	
22		大泉学園駅南バス通り	平成10年	1,125	75	1,200	
23		大泉学園駅南口地下	平成14年	672	0	672	
24		大泉学園駅西第三	平成13年	180	0	180	
25		学園通り	昭和62年	201	0	201	
26	大泉バス停	大泉北出張所バス停	平成8年	336	14	350	
27		風致地区バス停	昭和59年	120	0	120	
28		風致地区バス停第二	平成4年	260	0	260	
29		風致地区バス停第三	平成4年	56	0	56	
30		都民農園バス停	昭和63年	325	0	325	
31	保谷駅	南大泉	平成6年	2,420	76	2,496	
32	上石神井駅	上石神井駅北第一	昭和51年	136	0	136	
33		上石神井駅北第二	昭和58年	381	0	381	
34		上石神井駅北第三	昭和60年	400	25	425	
35		上石神井	平成6年	639	0	639	
36		上石神井駅南	平成7年	212	10	222	
37		上石神井駅南第二	平成12年	125	0	125	
38		上石神井駅南第三	平成27年	150	0	150	
39		上石神井立野橋	平成8年	243	10	253	

図表 44 区立自転車駐車場一覧(2/2)

	駅名	自転車駐車場名	開設	収容台数(台)			借地
				自転車	原付	計	
40	武蔵関駅	武蔵関駅西	昭和56年	596	14	610	
41		庚申橋	平成元年	123	0	123	
42		武蔵関駅南	平成2年	260	0	260	
43		武蔵関駅東	平成17年	278	0	278	
44		武蔵関駅南第二	平成4年	246	0	246	
45		武蔵関駅北	平成9年	430	0	430	
46		武蔵関駅北第二	平成13年	240	0	240	
47	東武練馬駅	北町二丁目	平成4年	231	0	231	
48	小竹向原駅	小竹向原駅	昭和60年	849	0	849	
49	氷川台駅	氷川台駅第一	昭和58年	822	0	822	
50		氷川台駅第二	昭和59年	359	0	359	
51		氷川台駅第三	平成8年	187	0	187	
52		氷川台駅第四	平成15年	532	47	579	
53		氷川台駅第五	平成23年	160	0	160	
54		氷川台駅第六	平成23年	180	0	180	
55		氷川台駅第七	平成23年	60	0	60	
56		氷川台駅第八	平成26年	150	0	150	
57	平和台駅	平和台駅第二	昭和61年	650	0	650	
58		平和台駅第四	平成18年	437	0	437	
59		早宮	平成6年	560	0	560	
60		早宮第二	平成8年	504	38	542	
61		早宮第三	平成8年	293	0	293	
62		平和台駅前地下	平成8年	341	0	341	
63		早宮第四	平成22年	175	0	175	
64	地下鉄赤塚駅	地下鉄赤塚駅南	昭和57年	955	43	998	
65	新桜台駅	新桜台駅	昭和58年	231	0	231	
66	新江古田駅	新江古田駅	平成11年	186	0	186	
67	練馬春日町駅	練馬春日町駅	平成4年	1,004	0	1,004	
68	光が丘駅	田柄	平成3年	181	19	200	
69		光が丘	平成3年	2,220	0	2,220	
70		光が丘第二	平成4年	352	46	398	
71		光が丘第三	平成14年	390	0	390	
72		光が丘第四	平成20年	174	0	174	
		合 計		32,538	674	33,212	42

図表 45 ねりまタウンサイクル一覧

	駅名	施設名	開設	供用台数(台)	借地
1	練馬駅	練馬	平成4年	400	
2	石神井公園駅	石神井公園	平成6年	400	
3	大泉学園駅	大泉学園駅北口	平成4年	600	
4		大泉学園駅南口	平成14年	500	
5	上石神井駅	上石神井	平成5年	400	
6	東武練馬駅	東武練馬	平成4年	200	
7	練馬春日町駅	練馬春日町	平成8年	200	
		合 計		2,700	3

4.3 自動車駐車場の現状

(1) 区立自動車駐車場の開設状況

練馬区には、以下の通り練馬駅北口地下駐車場、石神井公園駅北口駐車場、大泉学園駅北口・南口駐車場の4箇所あり、収容台数は1,057台です。

練馬駅北口地下駐車場は、開設から20年以上が経過しており、今後、施設の改修や管理機器の更新を進める必要があります。

図表 46 練馬区の自動車駐車場の開設状況

駐車場名	開設	収容台数
練馬駅北口地下 駐車場	平成7年 (平成18年に都から区へ移管)	490台
石神井公園駅北口 駐車場	平成14年	287台
大泉学園駅北口 駐車場	平成13年	38台
大泉学園駅南口 駐車場	平成14年	242台
合計		1,057台

(2) 自動車駐車場の維持管理の現状

平成 18 年度から指定管理者制度を導入し、施設の維持管理・運営を行っています。

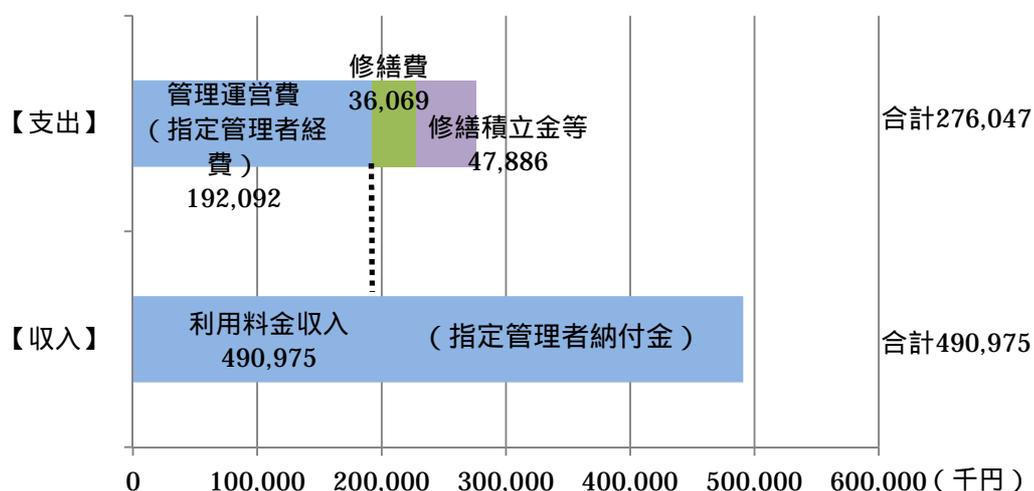
自動車駐車場の年間の維持管理費と収入（過去 5 年平均）

維持管理に要する費用は、管理運営費（指定管理者経費）と、区が支出する施設の修繕費、複合施設の共用修繕積立金等であり、年間約 2.7 億円です。一方、駐車場の利用料金収入は約 4.9 億円です。

指定管理は、利用料金制を採用しており、利用料金収入は指定管理者が收受し、管理運営費を除いた約 3.0 億円が区に納付されています。

区が支出している費用約 0.8 億円に対して、納付額が約 2.1 億円多くなっています。

図表 47 年間の維持管理費と収入



今後 10 年間にかかる自動車駐車場の維持管理費の試算

今後 10 年間にかかる駐車場等の維持管理の費用は、約 2.8 億円になります。引き続き利用料金による収入により維持管理を行います。

4.4 自動車駐車場の整備と維持管理の方針

(1) 自動車駐車場の整備方針

現在、駅周辺において自動車駐車場は、民間の施設が充実しています。民間施設の整備状況や利用実態を考慮し、今後、区立自動車駐車場の新設は行いません。

(2) 自動車駐車場の維持管理の方針

計画的な修繕の実施

練馬駅北口地下駐車場については、老朽化を見据えて、適切な時期に修繕を実施することで、安全性の確保と経費の抑制、効率的な維持管理を目指します。

複合ビル内の3施設(石神井公園駅北口、大泉学園駅北口・南口駐車場)については、管理組合と調整を図りながら修繕等を実施します。

指定管理者との役割分担

引き続き、指定管理者制度により、効率的な施設管理を進めます。

施設の維持管理については、区による施設改修と、指定管理者による日常的な維持補修があります。今後は、指定管理者による設備等更新の範囲を拡大し、迅速な対応によるサービスの向上を目指します。